



「新」を兜のくわ形で囲み、その外側に雪の結晶をデザインした。

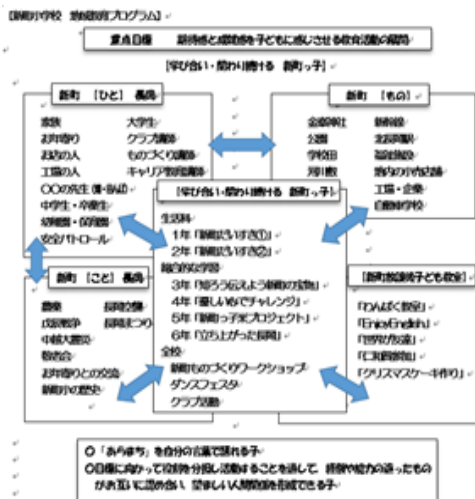


学校データ
【学級数】
17学級
【児童数】
363人
【地域コーディネーターの有無】
無

新町の特徴や歴史・人材の活用による、学び合い・関わり続ける新町っ子の育成

1 はじめに

信濃川の東岸・長岡駅の北部に位置する新町小学校区は、製紙・鉄鋼等多くの企業・工場を有する「ものづくりのまち」である。また、校区にあった蔵王堂城は長岡開府以前は長岡の地を支え、戊辰戦争の雄「河井継之助」が銃弾を受け負傷した地としても知られる「長く歴史を紡いだまち」である。さらに、保護者・地域・後援会・同窓会など多くの方々が、学校と協働・連携して子どもの学びをつくり上げていく「教育のまち」でもある。地域の特色や歴史・人材を活動に取り込み、それらと連携して、『学び合い・関わり続ける新町っ子』の育成を目指した、新町小学校の地域教育プログラムの実践を以下に紹介する。



【新町小 地域連携プログラム】

2 取組の実際

(1) 知ろう伝えよう新町の宝物 (3年)

堀や土塁と石碑、鳥居脇の堀直寄の銅像が当時を偲ばせる蔵王堂城跡にある蔵王公園、金峯神社と安禅寺は、地域住民にとって憩いの場であり、また多くの学年の学習の場となっている。

3年生は総合の時間に何度も蔵王堂城跡を探検し、神社の神主や城跡の保存会の方から、蔵王堂城の歴史や市や県の無形文化財となる神事の話をついた。また自分たちも参加している稚児舞や祭り神輿についても調べ活動を行い、そこに参加する意義を改めて考えることができた。

【金峯神社での流鏝馬の弓体験】

子どもたちは学習を通して、蔵王堂城跡が古くから地域の人々にとって身近で大切な場所であることに気付いた。また、校歌に歌われる樹齢約八百年の御神木の大きさを、新町のシンボルとして大切に、未来につなぎ多くの人に知ってもらいたいとの思いを強くした。さらに、学習のまとめとして制作したポスターを、市役所のギャラリーに展示させていただいた。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30

## (2) 新町ものづくりワークショップ(全校)

「ものづくりのまち」の特徴を生かし、土曜日半日を使った「新町ものづくりワークショップ」を、学校行事とキャリア教育に位置付け毎年開催している。

「ものづくりの楽しさに気付き、関わる人々の思いに触れる」「知的好奇心を持ちながら様々なことにチャレンジする意欲を育む」という2点をねらいとして、1コマ60分で25ブースを開設。子どもたちは、地域の鉄鋼工場の「知恵の輪」や「貯金箱」作り、NPO法人の「防災グッズ」作り、コミセン講座講師の「苔玉」や「リース」作り等、様々なものづくりの楽しさに浸る体験をしている。

活動を終えた子どもたちからは、「講師の方に教わり無事に完成することができて嬉しかった。」「新町にたくさんものづくりの工場があるのを知り驚いた。」との感想があった。また、活動を参観した保護者からは、「教えられた通りの作業を通し充実した時間を過ごしていた。」「子どもの新しい一面を発見でき、貴重な体験だった。」との声が聞かれた。講師の方からも、「真剣に話を聞き、作ったものを楽しそうに眺めていた。」

「一生懸命に取り組んでいる子どもたちの目や表情がとても素敵で、それがものづくりの良いところだと感じた。」との感想をいただくことができた。

ものづくりを通して、子どもたちの真剣な姿と笑顔が輝く活動となっている。

## (3) 新町放課後子ども教室(全校)

教育課程外だが、後援会の役員を中核とした運営委員会が、5月から12月の放課後を活動期間として「新町放課後子ども教室」を開催している。地域の英語講師を招いた月2回の「Enjoy English」は、チャンツやコミュニケーションゲーム等で英語を学び、回を重ねるごとに習ったフレーズを活用できるようになっている。

「世界は友達」は、月1回ベトナム・モンゴル等の外国人留学生と交流する会である。各国の文化・生活等の講話や、歌やゲームの体験を通して、日本とは違う国々の理解を深めるとともに、本物に触れる豊かな喜びを感受していた。

## 3 成果と課題

### 及び本実戦で育成された資質・能力

子どもたちは、地域の多くの「ひと」「こと」「もの」と出会うことにより、地域素材への興味を広げ、主体的な活動を展開し、地域への理解を深めることができた。また、地域の関係者からは、「未来の長岡を担う人材の育成」という視点から、当校への理解と協力を一層深めることにつながった。

## 4 おわりに

変化の激しい時代を生き抜き、持続可能な社会の創造を担う資質・能力を身に付ける一翼を担うものが、地域教育プログラムである。地域には教室では学べない「ひと」「こと」「もの」が数多くある。地域教育プログラムを通じた実践を計画的・継続的に進めることにより、学校と地域が連携・協働して子どもの学びの場を構築できる。これからも、子どもたちにより豊かな学びの成果を感得させることができるよう、「学び合い・関わり続ける新町っ子」を育てていきたい。